

解答プリント「中学2年理科・第2分野」

■発展プリント

15 生物と細胞, 動物の体のつくりと働き

【評価の観点】㊦：思考・表現 ㊧：技能 ㊨：知識・理解

解答例	解説
<p>1 (1)ライオン</p> <p>㊨ 特徴：目が頭の前についているので視野がせまい</p> <p>㊨ 利点：立体的に見える範囲が広く、獲物までの距離をはかりやすい シマウマ</p> <p>㊨ 特徴：目が頭の横についているので視野が広い</p> <p>㊨ 利点：すばやく敵を見つけやすい</p> <p>㊨ (2)特徴：犬歯が発達している、臼歯がナイフのようになっている</p> <p>㊨ 利点：犬歯は、獲物をしとめるのに適している、臼歯は、肉を切り裂くのに適している</p>	<p>1 (1)(2) 肉食動物の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目 頭の前, 視野はせまい, 正確な距離がはかれる ・歯 犬歯が発達している, 臼歯がナイフのようになっている <p>草食動物の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目 頭の横, 視野は広い, すばやく敵を発見できる ・歯 臼歯が発達している
<p>2 ㊦ エ</p>	<p>2 ヨウ素溶液はデンプンと反応して青紫^{あおむらさきいろ}色に変化する。溶液に色がついていない試験管にはデンプンがなく、デンプンがない理由はだ液によって分解されたからである。よって、だ液がよくはたらく温度は 30~40℃となる。ちなみに、20℃, 50℃の試験管は青紫色が少しくなっているが、これはデンプンが少しは分解されていることを示しており、この温度でも多少はだ液がはたらいている。</p>